

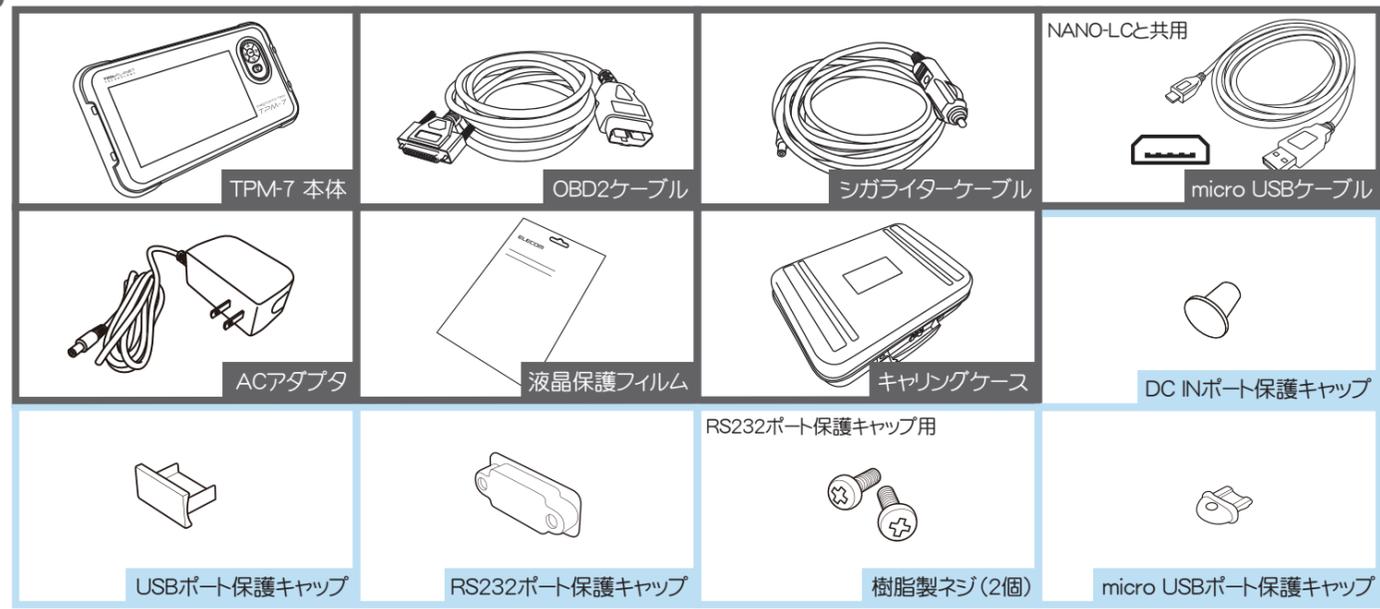
TPM-7 OBD PLUS クイックスタートガイド

重要 ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
出荷時に診断ソフトはインストールされていません。ユーザー登録・アップデート後に診断を行ってください。

1 セット内容の確認

・万一、セット品に不備がございましたら、お買い上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



※上記セットに「クイックスタートガイド」が同梱されています。
※ACアダプタは、イーサネットおよびUSB接続でアップデートを行う場合のみ使用します。

2 ユーザー登録

Step1

付属の micro USB ケーブルを使用して本体のmicro USBポートとPCのUSBポートを接続します。パソコンと接続すると、本体の画面にUSBケーブルのイラストが表示されPC接続モードになります。

Step2

パソコンが本体を認識すると、通知が表示されますのでクリックして「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックし本体内のファイルを表示させます。「UPDATE.exe」(アプリケーション)をダブルクリックして実行してください。

Step3

「Update アプリ」が起動します。「登録内容変更」ボタンをクリックするとプライバシー・ポリシーが表示されますので内容を確認して同意するをクリックします。

Step4

「ユーザー登録」画面が表示されますので、すべての入力欄にお客様の情報を入力して送信してください。**(未入力項目があると送信することができません)**

注意

- 〒は半角英数、ハイフン無しで入力してください。
- 住所は2行とも埋めてください。
- メールアドレスは半角英数で入力してください。メールによる認証作業がありますので必ず確認できるメールアドレスを入力してください。

全ての入力を終えたら、入力情報に間違いがないことを確認して「送信」をクリックしてください。
入力したメールアドレスに登録認証確認メールが届きますので、受信メールを開いて承認作業を行ってください。

自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「TPM-7」を開いてください。

2 ユーザー登録 (続き)

Step5

受信フォルダを確認すると「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールの本文にあるリンクをクリックしてください。

※ 認証確認メールが届かない場合は迷惑メールフォルダをご確認ください。

Step6

リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで、認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。以上でユーザー登録は完了です。続いてアップデートを行います。

※ アップデート期間・本体保証期間はユーザー登録日より1年です。
※ 登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。
※ 保証は本体のみです。その他付属品につきましては保証対象外となります。

アップデート期間が表示されない場合は「登録受付メール」をもう一度確認してください。
ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックしてください。

3 アップデート

本書の「ユーザー登録」を参考に本体とパソコンを接続して「Update アプリ」を起動してください。

Step1

「Update アプリ」の「アップデートチェック」ボタンをクリックします。

Step2

ダウンロードが始まり、TPM-7本体内に保存されます。

Step3

「アップデート完了」が表示されたら[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。以上でアップデートが完了しました。「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してTPM-7をパソコンから取り外してください。

アップデート開始後「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトによって外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。また、管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

4 J2534 Utilityのインストール

※OBD検査で使用されない場合はこの手順は必要ありません。

以下の手順はOBD検査でご使用されるWindows11がインストールされたパソコンまたはタブレットで行います。本書の「ユーザー登録」を参考に本体とパソコンを接続してください。

Step1

アップデートが完了すると、本体内に「J2534 Utility」が保存されます。「support」-「win-app」-「j2534 util」フォルダの順に開き、フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックして実行します。

Step2

インストーラーが起動します。「次へ」をクリックして続行します。以下、インストーラーに従い「J2534 Utility (AllDev)」をインストールします。

Step3

インストールが完了すると、デスクトップに「J2534 Utility (AllDev)」のショートカットが生成されます。

インストーラー起動前に「WindowsによってPCが保護されました」ダイアログが表示された場合は、「詳細情報」から「実行」をクリックしてください。
インストールの途中でユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をクリックして許可してください。
インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して、一旦本体を取り外してください。

OBDD検査につきましては、有線（USB接続）・無線（Bluetooth接続）の両方に対応しております。お客様のご使用環境に合わせて選択してください。



本体上部の「DC IN」「RS232」「MICRO USB」「USB」の使用しない各ポート（赤枠に付属のキャップを装着してください）。

※LANポートは保護する必要はありません。
※RS232ポート保護キャップを装着する際は、付属の保護キャップ用樹脂製ネジ（2個）をご使用ください。
※樹脂製ネジは強く締め付けないようにご注意ください。

5-A 【有線(USB)で接続する場合】

車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。付属の micro USB ケーブルを使用して本体の micro USB ポートと OBD 検査で使用するパソコンの USB ポートを接続します。



・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。セットアップが終了し「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されるまでお待ちください。

5-B 【無線(Bluetooth)通信で接続する場合】

車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。



6 J2534 Utilityで本体をパソコンにセットアップ（本体側）

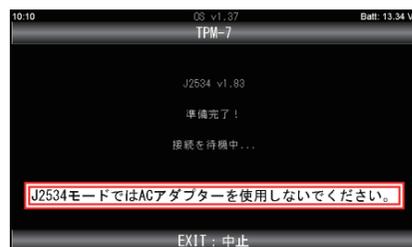
Step1

メインメニューから「特殊機能」を選択し、続いて「J2534 モード」を選択します。



Step2

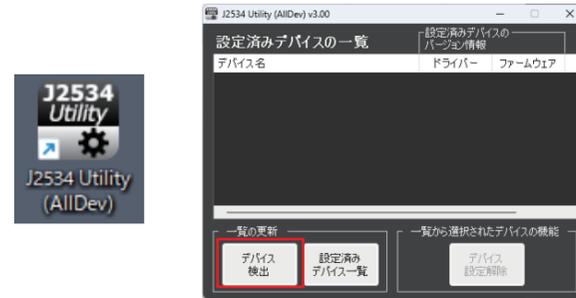
「J2534モード」が起動し、再起動後しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。TPM-7はこの状態で待機します。



6 J2534 Utilityで本体をパソコンにセットアップ（パソコン側）

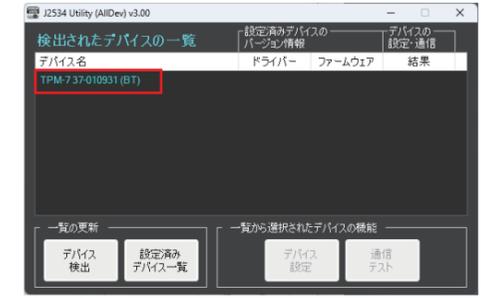
Step1

デスクトップの「J2534 Utility」を起動します。[デバイス検出]をクリックして接続されている本体（デバイス）の検出を開始します。



Step2

検出されたデバイス一覧に接続した本体が表示されます。



・ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。
・無線通信で接続する場合、周辺に本機以外のBluetooth機器が複数存在すると検出に時間がかかります。

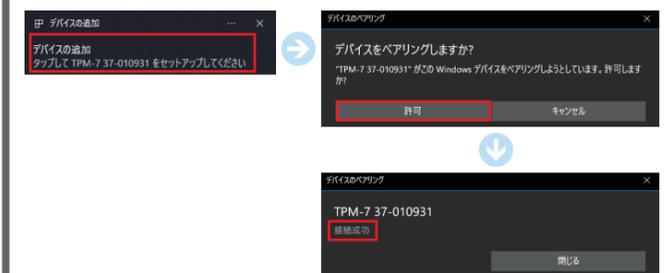
Step3

接続した本体のシリアル番号（例：37-01XXXX）と一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し「デバイス設定」をクリックします。



Step4

「デバイスの追加」ダイアログが表示されますのでタップします。続いて「デバイスのペアリング」ダイアログが表示されますので [許可] をクリックしてください。「接続成功」が表示されるとペアリング完了です。

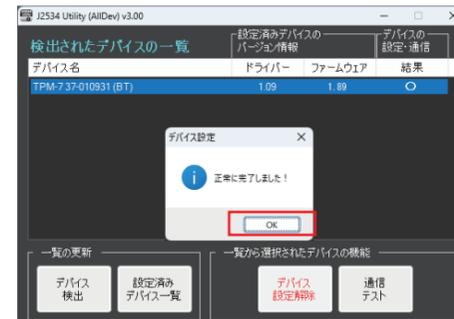


・シリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。
・パソコンへの接続方法によって、該当する方を選択してください。
有線接続の場合：TPM-7 37-01XXXX (USB)
無線接続の場合：TPM-7 37-01XXXX (BT) ※BT：Bluetooth

・デバイスのペアリングダイアログと同時に Windows の設定画面が表示された場合は、ペアリング完了後に閉じてください。

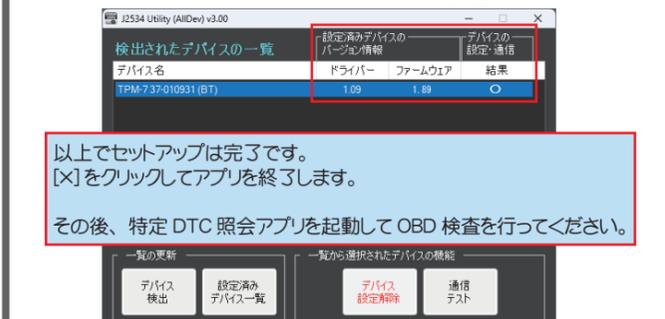
Step5

デバイス設定が完了すると「正常に完了しました！」ダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じます。



Step6

「ドライバー」「ファームウェア」欄にバージョン、「デバイスの設定・通信」欄に「○」が表示されると、デバイスの登録ならびに通信テストは完了です。



以上でセットアップは完了です。[X] をクリックしてアプリを終了します。

その後、特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。

・特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
・セットアップが完了したデバイス名（「TPM-7 シリアル番号 (USB または BT)」）が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

保証について

本体保証期間 ユーザー登録から 1 年間

※期間終了後、1 ヶ月以内にアップデート期間延長申込みをいただいた場合に限り本体保証も 1 年延長されます。
※本体保証は一度失効すると継続することはできません。